

第5章 平成24年度（平成23年度対象） 点検・評価結果

徳島県教育振興計画 平成23年度 取組状況(平成24年3月時点)

基本方針1 社会全体で取り組む教育の実現

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性														
1	学校・家庭・地域の連携の推進	<p>家庭教育に係る支援機能の充実 ○「家庭教育支援者養成講座」受講者数(累計)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><td>受講者数</td><td>1,268</td><td>1,372</td><td>1,431</td><td>1,515</td><td>1,572</td><td>1,550</td></tr> </table> <p>達成率 101.4% H23見直し</p>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	受講者数	1,268	1,372	1,431	1,515	1,572	1,550	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>地域ぐるみの家庭教育支援の実現に向けて、受講生のコミュニケーションスキルをはじめとした子育て支援の理論・技術の習得をめざす養成講座を実施し、地域において家庭の求めに応じた相談や情報提供などの支援活動を展開する家庭教育支援者を養成する。</p> <p>平成23年度から保護者の身近な家庭教育支援者である祖父・祖母世代を中心とする受講者を対象に、習得の知識の再確認や、現在の子育て状況について学習する養成講座を開催した。講座内容に、子・孫との活動(レクリエーション)を取り入れるなど、より実践的な内容となるよう図った。57人の受講があった。</p> <p>祖父・祖母世代を対象とする講座の開催により、家庭教育の学び直しや家庭教育支援に意欲的な祖父・祖母世代のニーズに対応することができた。</p> <p>養成講座受講後には、子育てサロンでの活動や、生涯学習課主催講座で家庭教育に関する講座を主宰する者があるが、受講者のこれからの活動に対するガイダンス機運を引き続き、高めていかなければならない。</p> <p>【今後の家庭教育づくりプログラム事業】において、平成23年度に引き続き、子育て世代にとつてより身近な祖父・祖母世代を対象に、習得の子育ての知恵の活用や現在の子育てに関する悩みを相談し、より身近な支援者を養成する。また、受講者の生涯学習情報ネットワーク指導者登録の促進、県教育委員会事業・主催講座での活動提供など、受講者のこれからの活動の支援を推進する。</p>
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24											
受講者数	1,268	1,372	1,431	1,515	1,572	1,550											
2	学校・家庭・地域の連携の推進	<p>子どもの読書活動の推進 ○子どもの読書活動の推進に関するイベント参加者数(累計)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><td>参加者数</td><td>2,456</td><td>3,376</td><td>5,217</td><td>7,402</td><td>9,080</td><td>8,000</td></tr> </table> <p>達成率 113.5%</p>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	参加者数	2,456	3,376	5,217	7,402	9,080	8,000	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>県民総ぐるみで子どもたちの自主的な読書活動を推進するための読書推進を図る「徳島県子ども読書活動推進計画(第二次推進計画)」のもと、読書ボランティアのネットワークを構築し、図書館や学校等の連携をさらに進めるなどにより、県民総ぐるみで子どもの読書活動を推進する。</p> <p>県立図書館においては、定期的にボランティア等による「おはなし会」を開催するとともに、子ども読書活動を推進する読書会を開催した。子ども読書活動への興味・関心を高める子ども読書等の行事も同時、実施した。</p> <p>「お父さんのための読み聞かせプロジェクト」を2日間開催し、男性を中心とする受講生を対象とした読み聞かせ研究会、絵本作家によるおはなし会を実施した。</p> <p>また、「とくしまの子ども読書活動推進のためのブックリスト100プラス!」・「とくしまの赤ちゃんのためのブックリスト100ジャスト!」の活用推進を図る目的でフォーラムを開催し、「赤ちゃんブックリスト」掲載作品の絵本作家による記念講演、読書交流会を行った。(とくしま子ども読書推進プログラム実行委員会実施)。</p> <p>イベント参加者数は、1,678人であった。</p> <p>県立図書館において、定期的に「おはなし会」・ボランティアによる「おはなし会」の開催をはじめ、子どもたちの読書活動の推進につなげるため、絵本作家を招いてのイベントを実施し、読書活動への関心を高めたい。</p> <p>「とくしまの子ども読書活動のためのブックリスト100プラス!」を開催し、県民からの意見交換を実施したが、今後、県民からの意見を反映させた推進活動によって、県民総ぐるみで取り組む子ども読書活動の推進を高めていかなければならない。</p> <p>作成した読書ブックリストを活用した読書活動を継続するとともに、県民、徳島県子ども読書活動推進協議会からの意見・提言を反映させた推進活動によって、県民総ぐるみで取り組む子ども読書活動の推進を高めていく。</p>
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24											
参加者数	2,456	3,376	5,217	7,402	9,080	8,000											

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																		
3	<p>学校・家庭・地域の連携の推進</p> <p>地域教育に貢献する人づくり ○地域教育力再生コーディネーター養成講座受講者数(累計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>123</td> <td>164</td> <td>246</td> <td>304</td> <td>372</td> <td>390</td> <td>95.4%</td> <td>390</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	人数	123	164	246	304	372	390	95.4%	390	<p>学校・家庭・地域・行政等が連携して、子どもたちが安心して学べる安全な地域の学びをつくるための人材を養成する。</p> <p>「子どもたちの学びの場づくりコーディネーター研修」として、放課後子どもプラン推進事業、学校支援地域本部事業等においてコーディネーターのみならず、指導員、指導員として活動している方等を対象に4日間の研修講座である「子どもと放課後のしめこ講座」を開催した。</p> <p>研修内容は「子育てコーディネーター」、「つどいを楽しくする実践講習」、「アサーション・トレーニング」、「絵本で遊ぼう・詩で遊ぼう」等であり、子どもたちの安全で健やかな居場所づくりや、学校教育への支援活動、また、地域の教育活動の活性化を図ろうと68名が受講した。</p> <p>研修開講日は4日間としたが、受講生のより実践的な知識と技術を身に付けたいとするニーズに対応するため、コーディネーター、アサーション・トレーニングを2日間、取り入れた。</p> <p>受講生の受講後の活動の場に対するガイダンス機能を引き続き、高める必要がある。</p> <p>地域教育力再生事業受講者のさらなるステップアップを図り、学校・家庭・地域の連携を推進し、地域活動の活性化、地域防災の充実につなげることでできる人材を養成していかなければならない。</p>
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
人数	123	164	246	304	372	390	95.4%	390												
4	<p>学校・家庭・地域の連携の推進</p> <p>地域ぐるみで学校運営を支援する体制の構築 ○「学校支援地域本部」の実施市町村数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>20.8%</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	数	5	9	10	10	5	5	20.8%	24	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>中学校区を基本単位とする「学校支援地域本部」を核とし、「コーディネーター」や「学校支援ボランティア」を配置し、学校・家庭・地域の連携を推進し、地域ぐるみの学校支援体制づくりを推進する。</p> <p>新規補助事業である「地域ぐるみの学校支援事業」の運営や広域について協議するため、県に「学校・家庭・地域の連携による子どもたちの健全育成推進協議会」を設けた。本協議会では本事業とともに放課後子ども教室推進事業の運営や広域についての協議も行った。</p> <p>また、学校サポーターズクラブ制度周知と併せ、地域人材による学校支援ボランティア活動展開への理解を促すため、「学校・家庭・地域連携フォーラム」を開催した。</p> <p>平成23年度、5市町村に13の学校支援地域本部が設置された。茨城県においては、全中学校区に本部が設置された。</p>
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
数	5	9	10	10	5	5	20.8%	24												

番号	項目	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																		
5	学校・家庭・地域の連携の推進	<p>地域による学校支援をさらに促進するため、学校サポーターズクラブ認証制度を創設し、活動の主体となる地域の各種住民団体の連合体の設立をめざし、「地域ぐるみの学校支援事業（学校支援地域本部）」の展開を併せ、地域ぐるみの学校支援体制づくりを推進する。</p> <p>県教育委員会が、「小学校区又は中学校区」の地域の自治会、婦人会、青年会、老人クラブ、ボランティアグループ等の既存団体による連携、連合体を学校支援組織「学校サポーターズクラブ」として認証する。24年1月に開催した「学校・家庭・地域連携フォーラム」において、学校サポーターズクラブの趣旨説明と、キックオフ行事「学校サポーターズクラブラッピング授与式」を行った。23年度、13市町村35クラブを認証した。</p>	<p>地域による学校支援をさらに促進するため、学校サポーターズクラブ認証制度を創設し、活動の主体となる地域の各種住民団体の連合体の設立をめざし、「地域ぐるみの学校支援事業（学校支援地域本部）」の展開を併せ、地域ぐるみの学校支援体制づくりを推進する。</p> <p>県教育委員会が、「小学校区又は中学校区」の地域の自治会、婦人会、青年会、老人クラブ、ボランティアグループ等の既存団体による連携、連合体を学校支援組織「学校サポーターズクラブ」として認証する。24年1月に開催した「学校・家庭・地域連携フォーラム」において、学校サポーターズクラブの趣旨説明と、キックオフ行事「学校サポーターズクラブラッピング授与式」を行った。23年度、13市町村35クラブを認証した。</p>																		
	取組状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>39</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>50</td> <td>48</td> <td>80</td> <td>60.0%</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値		39	55	55	50	48	80	60.0%	80	<p>13市町村35のクラブを認証した。学校支援地域本部事業（委託事業も含め）の取組を行っていなかつた市町村においてもクラブの申請があり、学校支援活動の広がりをみせた。</p> <p>認証クラブにおいて、これまで団体・グループが揃って来たノウハウを活かした地域の学校に対する学校支援活動の充実・多様化及び継続化を図るため、学校支援活動の効果的な方法等の情報提供・支援が必要である。</p>
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値													
	39	55	55	50	48	80	60.0%	80													
	今後の取組及び方向性		<p>「学校サポーターズクラブ」制度のさらなる広報・啓発活動を推進し、「地域ぐるみの学校支援事業」による学校支援地域本部の展開と併せ、地域ぐるみの学校支援体制づくりを推進する。</p>																		
番号	項目	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																		
6	学校・家庭・地域の連携の推進	<p>生涯学習政策課</p> <p>「放課後子どもプラン」の推進</p> <p>○「放課後子ども教室」実施数</p>	<p>放課後や週末等に小学校の余剰教室等を活用した「放課後子ども教室」の開設を促進し、すべての子どもを対象とした学習、スポーツ、文化活動や地域住民との交流活動を行うことのできる安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）づくりを推進する。</p> <p>「放課後子ども教室」を、県内5市（徳島市、鳴門市、小松島市、美馬市、三好市）、9町（石井町、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町、北畠町、板野町、つるぎ町、東みよし町）と県立高等学校において、48か所を実施した。新規開設教室として、牟岐町の牟岐小学校校区、つるぎ町の古見小学校校区の2教室が加わり、累計数は62教室に達した。</p>																		
	取組状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>39</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>50</td> <td>48</td> <td>80</td> <td>60.0%</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値		39	55	55	50	48	80	60.0%	80	<p>新規に牟岐町とつるぎ町で教室が開設され、全県的に広がりを見せている。一方で児童数の減少や、運営に関わる安全管理員等の確保が困難なため、閉鎖する教室がある。</p> <p>また、県生涯学習課が所管の放課後対策事業である放課後児童健全育成事業を実施しているため、地域の突発や利用者のニーズを勘案し、放課後子ども教室の実施を見送る市町村もある。</p> <p>なお、安全管理員等研修会や放課後子ども教室の推進に関する東海地震・東南海地震・南海地震にに向けた「放課後の防災・救済対策」をテーマに検討した。日頃の心構えや物納の備え、そして実際に地震が起きた際の具体的な行動を考えることで、各教室における安全管理の見直しと関係者の防災意識の高めにつなげることができた。</p>
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値													
	39	55	55	50	48	80	60.0%	80													
	今後の取組及び方向性		<p>平成23年度より本事業は「学校支援地域本部」と共に「(国) 学校・家庭・地域の連携協力推進事業」の中に位置づけられた。県生涯学習課においてより広い観点から事業を検討することができた。</p> <p>これにより、コーディネーターを派遣したり、それぞれの委託に応じて両事業の取組を有機的に組み合わせ各地域でも、コーディネーターを派遣したり、それぞれの委託に応じて両事業の取組を有機的に組み合わせたりすることで、より充実した教育活動を支援することのできる体制づくりを推進していく。</p>																		

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
7	地域の教育力の活用	学校評価システムの構築の充実 ○「学校関係者評価」実施率 	<p>事業目的 保護者、学校評議員、地域住民、青少年健全育成関係団体の関係者、被検する学校の教職員その他の学校関係者などにより構成された委員会等が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価を行うことで、自己評価の客観性・透明性を高め、学校・家庭・地域が学校の現状と課題について共通理解を深め、相互に連携し、学校運営の改善への協力を促進する。</p> <p>取組状況 平成22年度における学校評価の実施状況を調査し、実施状況や委託上の成果及び課題について明らかにするとともに、集計・分析結果を市町村教育委員会及び各学校に通知して、学校評価の充実・改善の取組を促した。公立学校における平成23年度の学校関係者評価の実施状況を調査し、実施状況や課題について明らかにするとともに、学校関係者評価の充実に向けて、指導・助言を行った。県立学校については100%の実施率となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>58.4%</td> <td>67.8%</td> <td>78.1%</td> <td>94.2%</td> <td>94.2%</td> <td>94.2%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 国や県のガイドラインに基づき、学校関係者評価の実施に向けて、委託調査において各学校の実態を把握することなどができた。評価結果を公開し、広く意見を求めながら、学校運営に生かしている学校が増加し、県内に広がる学校評価が充実してきている。</p> <p>今後の取組及び方向性 今後、小・中学校での実施を踏まえて、さらに実施率を上げていく必要がある。</p> <p>市町村教育委員会や学校間によって、学校評価の取組状況に差が見られることから、学校評価がいかに実態に即した取組推進の方策となっているか、それぞれの学校の実施状況を把握し、各市町村教育委員会及び各学校に周知する。学校関係者評価の効果的な実施を推進するために、各市町村教育委員会及び各学校に指導、助言、啓発を行う。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値		58.4%	67.8%	78.1%	94.2%	94.2%	94.2%	100%
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
	58.4%	67.8%	78.1%	94.2%	94.2%	94.2%	100%												
8	地域の教育力の活用	学校政策課 事業名、数値目標実績 コミュニティ・スクールの推進 ○「コミュニティ・スクール」モデル校数(累計) 	<p>事業目的 保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」によって、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりすることを通じて、地域の方々の意見を反映させ、「開かれた学校」づくりの動きを推進する。</p> <p>取組状況 平成23年度は、半田小学校、木沢小学校の2校がコミュニティ・スクール推進事業の調査研究校として実地研究を行い、各町教育委員会と連携して研究を推進した。文科省主催の「地域とともにある学校づくり制度等説明会」においてコミュニティ・スクールの指定校である取組である取組を報告等を行い、実施校の好事例について周知を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>84.6%</td> <td>H23見直し</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 調査研究校では、保護者・地域住民が学校行事や教育活動に参加し、学校について理解を深めてもらうとともに、学校に対しての意見を収集する機会となるなど、地域の意見や学校運営に活かした開かれた学校づくりに向けた取組ができるようになった。</p> <p>今後、本事業の仕組みを広め、さらに各学校の課題解決の方策として推進していくことが必要である。</p> <p>今後の取組及び方向性 コミュニティ・スクールの指定及び文部科学省による調査研究を受けた学校における成果や課題を明らかにするとともに、その結果を広く公開周知していく。本事業を導入していない市町村教育委員会や学校に対しても、実施及び意識調査を行い、その調査結果に基づき、提案等を行っていく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	2	5	9	11	11	13	84.6%	H23見直し
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
2	5	9	11	11	13	84.6%	H23見直し												

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性												
9	幼児期における教育の充実	総合的な幼児教育の推進 ○預かり保育実施率(公私立) <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th></tr> <tr><th>実施率</th><td>67.0%</td><td>67.0%</td><td>81.2%</td><td>84.6%</td><td>88.1%</td></tr> </table> 学校政策課 総務課	年度	H19	H20	H21	H22	H23	実施率	67.0%	67.0%	81.2%	84.6%	88.1%	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 「徳島県幼児教育振興アクションプラン推進事業」を実施しており、その重点施策の一つとして、預かり保育の充実に取り組み、平成21年度に取り組み始めた預かり保育に係る調査研究の成果を、各種研究会を通じて県内の幼稚園に普及を行った。 また、「預かり保育実施調査」を実施し、各市町における実施状況の把握を行い、預かり保育の質的向上を図るため、各市町に対し、指導体制や条件整備についての指導・助言を行った。 本県における預かり保育の実施率(公私立)については、全国平均を上回っているとともに、預かり保育を実施する園も年々増加していることから、ニーズに応じた保育の推進がなされている。 引き続き、「預かり保育実施調査」を実施し、各市町における実施状況の把握を行うとともに、地域や保護者のニーズに応じた預かり保育がより一層推進されるよう、学校政策課説明会等の機会を捉え、各市町に対し、指導体制や条件整備についての指導・助言を行っていく。
年度	H19	H20	H21	H22	H23										
実施率	67.0%	67.0%	81.2%	84.6%	88.1%										
10	産業界や大学等との連携の推進	事業名、数値目標実績 キャリア教育の推進 ○「キャリア教育の手引き(仮称)」の作成・推進 学校政策課	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 キャリア教育について、教職員の理解を深め、校内におけるキャリア教育充実に向けた体制の構築、また生徒に学習の意欲やコミュニケーション能力の育成・向上などを図り、社会的・職業的自立に向けて、小中高と12年間の体系的・一貫的なキャリア教育の推進を目指す。 キャリア教育の必要性や実施の手順、小中高の取り組み等を紹介した「キャリア教育の推進に向けて」を作成した。 又、調査等が作成した「キャリア教育の手引き」やこれまで県が作成した「キャリア教育のすすめ」により、キャリア教育の重要性について理解は深まっているが、今後、全体計画の策定や校内体制の構築などの具体的な取り組みが求められる。												

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
11	産業界や大学等との連携の推進	事業名、数値目標実績 キャリア教育の推進 ○高校におけるインターンシップの実施率 	事業目的 将来進む可能性のある職業に關連する活動を試行的に体験することを通して社会人・職業人への移行準備に役立て、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを意識させるとともに、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲などを培う。																
		取組状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>65.9%</td> <td>77.3%</td> <td>77.3%</td> <td>118.9%</td> <td>65%</td> </tr> </tbody> </table> 注：H23新規 平成23年度データは平成24年9月頃判明	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	65.9%	77.3%	77.3%	118.9%	65%	取組状況 インターンシップの充実に向けでは、各校独自にインターンシップに取り組んでいる。また、県商工労働部と連携した2週間の夏期インターンシップである「産業人材確保インターンシップ事業」、県立図書館等の県立施設を活用した「県立施設におけるインターンシップ促進事業」や「地域連携産業人材育成確保事業」に取り組んでいる。さらに普通科高校のインターンシップ実施率が低いことから、「高等学校普通科等キャリア教育推進事業」を実施している。
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	—	—	65.9%	77.3%	77.3%	118.9%	65%												
		評価 実施率については、県単事業の活用や各高校への呼びかけなどにより上昇しており、その効果としては、自らの進路について積極的に考えるようになり、職業において必要な知識・技術等について理解し、学習の意欲やコミュニケーション能力等の必要性について理解できた等が挙げられている。	評価 実施については、受入先企業の確保等の課題や普通科高校におけるインターンシップ実施率のさらなる向上を図る必要がある。																
		今後の取組及び方向性 学校政策課 平成23年度の全国実施率は平成24年9月頃公表の予定である。 県単事業の更なる活用やキャリア教育普及に向けて作成した「キャリア教育の推進に向けて」の活用により、教職員のキャリア教育への理解を深め、体験的・活動的のさらなる推進に努める。	今後の取組及び方向性 県単事業の更なる活用やキャリア教育普及に向けて作成した「キャリア教育の推進に向けて」の活用により、教職員のキャリア教育への理解を深め、体験的・活動的のさらなる推進に努める。																
12	産業界や大学等との連携の推進	事業名、数値目標実績 キャリア教育の推進 ○中学校における職場体験の実施率 	事業目的 生徒が職業働く人と接することにより、また、実務的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意味や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを意識させるとともに、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲などを培う。																
		取組状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77.0%</td> <td>82.0%</td> <td>83.1%</td> <td>95.4%</td> <td>96.5%</td> <td>96.5%</td> <td>101.6%</td> <td>95%</td> </tr> </tbody> </table> 注：H23見直し 平成23年度データは平成24年9月頃判明	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	77.0%	82.0%	83.1%	95.4%	96.5%	96.5%	101.6%	95%	取組状況 中学校の職場体験の充実に向け、国の事業である「小・中学校における体系的・一貫的な進路指導に関する調査研究」に阿南市、美馬市の2市において取組み、「受入先企業バンク」の構築、小学校と中学校の連携の在り方を研究するなど、職場体験が効果的・効果的に実施できるよう取り組んだ。
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
77.0%	82.0%	83.1%	95.4%	96.5%	96.5%	101.6%	95%												
		評価 実施率については、国の事業の活用や各高校への呼びかけなどにより上昇しており、その効果としては、働くこと、生きることの尊さを感じたり、将来に向かって進んで学ぼうとする姿勢を養うことができた等が挙げられている。	評価 実施については、受入先企業の確保や職場体験に必要となる保護者の理解の確保、また、生徒の自宅から受入先企業までの安全の確保や職場体験に参加する中学生の取組に対する意識の向上等の課題がある。																
		今後の取組及び方向性 学校政策課 各町村教育委員会を通じて各小中学校にキャリア教育のさらなる推進を求めていく。キャリア教育において、体験的・活動的の充実が求められていることから、中学校における職場体験については、これまでの事業の成果を踏がしつつ全ての中学校での実施を目指す。	今後の取組及び方向性 各町村教育委員会を通じて各小中学校にキャリア教育のさらなる推進を求めていく。キャリア教育において、体験的・活動的の充実が求められていることから、中学校における職場体験については、これまでの事業の成果を踏がしつつ全ての中学校での実施を目指す。																

番号	13	13	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
目録	<p>学校・家庭・地域の連携の推進</p>	<p>事業名、数値目標実績</p> <p>教育機会均等の推進</p> <p>○公立高等学校の授業料不徴収等</p>	<p>家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して進学に打ち込める社会を作るため、公立高等学校等の授業料を徴収しないこととすとともに、公立高等学校以外の高等学校等の生徒の授業料に充てる高等学校等就学支援金を支給することにより、家庭の教育費負担の軽減を図り、教育の機会均等に寄与する。</p> <p>公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律が制定され、平成22年度から、特別の事由がある場合を除き、原則として公立高等学校の授業料等を徴収しないこととされたことにより、本県においても、関係する条例を改正し、平成22年度から、原則として県立高等学校の生徒から授業料等を徴収しないこととした。</p> <p>私立高等学校等の生徒に対し、授業料について一定額（年額118,800円）を助成することにより、教育費負担の軽減を図った。</p> <p>所得に応じて178,200円～237,600円）を助成することにより、教育費負担の軽減を図った。</p> <table border="1" data-bbox="491 448 566 1288"> <tr> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>達成率</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>教育に係る家庭の教育費の負担を軽減し、教育の機会均等を図ることができた。</p> <p>私立高等学校等における教育に係る経済的負担を軽減することにより、生徒の就学機会の確保が図られた。</p> <p>引き続き、公立高等学校の授業料不徴収等を継続する。</p> <p>引き続き、私立高等学校等への就学機会を確保するため、支援を行う。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	推進	推進			推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	—	—	推進	推進			推進												
<p>学校政策課</p> <p>総務課</p>	<p>今後の取組及び方向性</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>																

基本方針2 未来にはばたく力をばぐむ教育の実現

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																																
14	「確かな学力」の育成	<p>「徳島県学校改善支援プラン」の推進</p> <p>○各学校が作成する「学力・学習状況」改善プランにおける数値目標の達成状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>69.6%</td> <td>70.3%</td> <td>85.8%</td> <td>83.6%</td> <td>98.6%</td> <td>十分できた・概ねできた学校の割合 87%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	目標値	達成率	-	69.6%	70.3%	85.8%	83.6%	98.6%	十分できた・概ねできた学校の割合 87%	<p>各学校が、自校のプランに基づき、学力向上等への取組を推進し、年度末に目標の達成状況を評価し、今後の改善策を検討するというPDCAのマネジメントサイクルを実施することにより、主体的に教育活動の改善を推進する。</p> <p>平成19年度末に策定した「徳島県学校改善支援プラン」に基づき、各学校において重点目標、数値目標、具体的な改善策等を記載した「学力・学習状況」改善プランを作成し、PDCAのマネジメントサイクルを実施することにより、平成22年度の成果と課題及び検討した改善策を平成23年度の「学力・学習状況」改善プランに反映させた。</p> <p>各学校が自校のプランに基づき、主体的に教育活動の改善を進め、学校運営にPDCAのマネジメントサイクルの形成が生かされ、学力向上等への取組が進んだが、各校の数値目標の設定見直し等により、「十分できた・概ねできた」学校の割合が伸び悩んでいる。</p> <p>児童生徒の課題等、各学校の状況に応じた数値目標設定が図られるよう引き続き指導・助言を行う。また、各学校が検討した改善策を本年度の「学力・学習状況」改善プランに反映させ、マネジメントサイクルにより、各学校が主体的に教育活動の改善を推進できるように指導・助言を行っていく。</p> <p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>全ての学校で課題改善に徹底して取り組むことができるよう、「徳島県学校改善支援プラン」の支援策の一つとして各学校に「自己評価シート」を提供し、校内の自己評価等を機能させ、校内外におけるチェック体制の充実を図る。</p> <p>各学校では、評価シートを活用し、年2回、校長が自校の取組を評価した。その評価結果を県教育委員会で集計し、各学校に評価結果を提供した。各学校において評価シートを活用した学力向上等への取組が展開された。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>42.3%</td> <td>42.9%</td> <td>100.0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>十分できた・概ねできた学校の割合 100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>全ての学校で学力向上への意欲的な取組がなされた結果、平成22年度に数値目標を達成した。</p> <p>今後とも、各小中学校において、学校改善支援プランに基づいた検証改善サイクルによる学力向上への取組が継続して実施されるよう推進する。</p>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	目標値	達成率	-	42.3%	42.9%	100.0%	100%	100%	十分できた・概ねできた学校の割合 100%
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	目標値																												
達成率	-	69.6%	70.3%	85.8%	83.6%	98.6%	十分できた・概ねできた学校の割合 87%																												
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	目標値																												
達成率	-	42.3%	42.9%	100.0%	100%	100%	十分できた・概ねできた学校の割合 100%																												
15	「確かな学力」の育成	<p>「徳島県学校改善支援プラン」の推進</p> <p>○各学校が実施する「学力向上に関する自己評価」の達成状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成率</td> <td>42.3%</td> <td>42.9%</td> <td>100.0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>十分できた・概ねできた学校の割合 100%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H20	H21	H22	H23	H24	目標値	達成率	42.3%	42.9%	100.0%	100%	100%	十分できた・概ねできた学校の割合 100%	<p>「徳島県学校改善支援プラン」の推進</p> <p>○各学校が実施する「学力向上に関する自己評価」の達成状況</p> <p>全ての学校で学力向上への意欲的な取組がなされた結果、平成22年度に数値目標を達成した。</p> <p>今後とも、各小中学校において、学校改善支援プランに基づいた検証改善サイクルによる学力向上への取組が継続して実施されるよう推進する。</p>																		
年度	H20	H21	H22	H23	H24	目標値																													
達成率	42.3%	42.9%	100.0%	100%	100%	十分できた・概ねできた学校の割合 100%																													

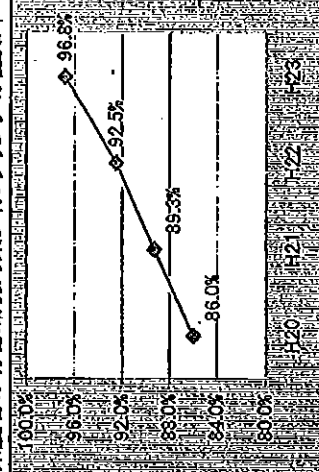
番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
16	「確かな学力」の育成	<p>「徳島県学校改善支援プラン」の推進</p> <p>○「全国学力・学習状況調査」における県平均正答率が全国平均正答率を上回った教科数</p> <p style="text-align: right;">学校政策課</p>	<p>事業目的 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>8項目中4項目上回った</td> <td>8項目中4項目上回った</td> <td>8項目中5項目上回った</td> <td>震災のため全国調査なし</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>全国平均正答率を上回る</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 過去の調査における類似問題の正答率等と比較するなど分析を行った結果、小中学校とも基礎基本の内容に関する定着が見られ、無回答率が低くなってきている。一方、「活用」に関する問題では、無回答率は低下しているが、特に長文の読み取りや表された条件に沿って記述説明する問題の正答率が低く課題が見られる。</p> <p>今後の取組及び方向性 本県児童生徒の課題となつている「知識・技能を活用する力」の育成をさらに進める。また、希望利用校においても国の調査を有効活用できるよう、県として集計・分析ソフトウェアの提供等の体制を整える。また、「徳島県学校改善支援プラン」に基づき具体的な取組を推進するとともに、教師の授業改善及び児童生徒一人ひとりの課題に応じた学習指導を積極的に進めるなどの学方向上に向けた取組を一層推進する。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	8項目中4項目上回った	8項目中4項目上回った	8項目中5項目上回った	震災のため全国調査なし	—	—	全国平均正答率を上回る
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	8項目中4項目上回った	8項目中4項目上回った	8項目中5項目上回った	震災のため全国調査なし	—	—	全国平均正答率を上回る												
17	「確かな学力」の育成	<p>「徳島県学校改善支援プラン」の推進</p> <p>○授業以外で1日30分以上勉強する児童生徒の割合</p> <p style="text-align: right;">学校政策課</p>	<p>事業目的 学校における様々な学方向上の取組推進に加え、家庭における児童生徒の学習習慣を定着させたり学習内容を充実させたりすることにより、一人ひとりの学習に対する意欲の向上や学習意欲の確立を図る。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小5 81.8 中2 83.2</td> <td>小5 82.2 中2 81.5</td> <td>小5 83.4 中2 84.2</td> <td>小5 85.3 中2 86.5</td> <td>小5 84.9 中2 86.6</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>小5 97.8% 中2 98.2% 小5 86.8% 中2 88.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 家庭学習習慣の確立に向けた指導・助言を受け、各学校が「家庭学習の手引」を作成し、活用を図るなどして、児童生徒の家庭学習習慣の充実に向けた取組が推進されたが、調査結果からは特に小学校5年生に課題が見られる。なお、一層継続的に「家庭学習の手引」の内容を見直しとともに、保護者との連携を図りつつ、家庭における学習内容をさらに充実させていく必要がある。</p> <p>今後の取組及び方向性 各学校が作成した「家庭学習の手引」の活用及び更なる改善を支援するなど、児童生徒の家庭学習習慣の確立を図り、定着化を一層推進する。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	小5 81.8 中2 83.2	小5 82.2 中2 81.5	小5 83.4 中2 84.2	小5 85.3 中2 86.5	小5 84.9 中2 86.6	—	—	小5 97.8% 中2 98.2% 小5 86.8% 中2 88.2%
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
小5 81.8 中2 83.2	小5 82.2 中2 81.5	小5 83.4 中2 84.2	小5 85.3 中2 86.5	小5 84.9 中2 86.6	—	—	小5 97.8% 中2 98.2% 小5 86.8% 中2 88.2%												

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
18	<p>「徳島県学校改善支援プラン」の推進 ○家や図書館で1日10分以上本を読む児童生徒の割合</p> <p>「確かな学力」の育成</p>	<p>事業目的 全体的に家庭における読書習慣が着目されている中、学校図書館活動等を活性化し、貸出冊数を増加させるなど学校による家庭読書につながる取組を充実させ、児童生徒が家庭や図書館で本を読む習慣を定着させる。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小5 70.2 中2 60.6</td> <td>小5 70.1 中2 58.1</td> <td>小5 66.0 中2 55.5</td> <td>小5 66.9 中2 55.8</td> <td>小5 70.1 中2 58.1</td> <td></td> <td>小5 93.2% 中2 88.6%</td> <td>小5 75.2% 中2 65.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>学校図書館の活性化を通じた読書習慣づくりの取組として「読書の生活化プロジェクトⅡ」を実施するとともに、徳島県学力アッププロジェクト中の読書等調査の1項目として、小学校5年生、中学校2年生を対象に実施調査を実施した。</p> <p>多くの学校において、お読みブックリストの作成や朝の一言読書など学校をあげての取組が行われ、読書活動の推進が図られている。 しかしながら、小学生に比べ、中学生の読書活動の割合がやや低い。読書の生活化に向けた取組を深め、さらに読書活動を行っていく必要がある。 子どもたちの身近に読みたい本がある環境づくりを推進するため、各学校の図書館により一層活用されるよう図書館活用機会を拡大していく。また「読書の生活化プロジェクトⅡ」を実施し、毎月23日を「家庭読書の日」、その趣を「家庭読書推進週間」として新聞を含む家庭読書につながる取組を実施する。</p> <p>評価 今後の取組及び方向性</p> <p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>子どもたち一人ひとりが、将来、社会の一員としてたくましく立ちあがり、徳島県内の各小中学校において、子どもたちが自身や知・徳・体を柱とした「阿波っすすだち(あわたっすすだち)宣言」を作成し、宣言に基づいた様々な取組を推進する。</p> <p>本プロジェクト推進に向けて、学方向上推進員研修会、校長会等において趣旨説明及び昨年度の実績等を説明するなど、円滑な実施に努めた。 平成24年1月5日(木)、徳島県教育会館で開催したあわ(OUR)教育発表会において、特色ある取組を行った8校が実践発表を行った。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	小5 70.2 中2 60.6	小5 70.1 中2 58.1	小5 66.0 中2 55.5	小5 66.9 中2 55.8	小5 70.1 中2 58.1		小5 93.2% 中2 88.6%	小5 75.2% 中2 65.6%
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
小5 70.2 中2 60.6	小5 70.1 中2 58.1	小5 66.0 中2 55.5	小5 66.9 中2 55.8	小5 70.1 中2 58.1		小5 93.2% 中2 88.6%	小5 75.2% 中2 65.6%											
19	<p>事業名、数値目標実績</p> <p>「たくましい人づくりの推進」</p> <p>知・徳・体の調和のとれた「たくましい人づくり」を進めるため、児童生徒自身が自分たちの生活や学習を振り返り、目標を立てて取り組む「阿波っすすだち(あわたっすすだち)宣言プロジェクト」を実施</p> <p>「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の育成</p>	<p>事業目的 子どもたち一人ひとりが、将来、社会の一員としてたくましく立ちあがり、徳島県内の各小中学校において、子どもたちが自身や知・徳・体を柱とした「阿波っすすだち(あわたっすすだち)宣言」を作成し、宣言に基づいた様々な取組を推進する。</p> <p>本プロジェクト推進に向けて、学方向上推進員研修会、校長会等において趣旨説明及び昨年度の実績等を説明するなど、円滑な実施に努めた。 平成24年1月5日(木)、徳島県教育会館で開催したあわ(OUR)教育発表会において、特色ある取組を行った8校が実践発表を行った。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>あわ(OUR)教育発表会における優秀な実践校の発表等を通して、主体的に取り組む児童生徒の姿や取組の成果を広く伝えることができ、参加者の平成24年度の取組に向けた意欲の高揚が図られた。</p> <p>平成23年度の読書・読書点等を平成24年度「すだち宣言」の計画に生かすとともに、各学校が自校の特色を生かし、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成につながる活動が展開されるよう推進する。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	推進	推進			推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
—	—	—	推進	推進			推進											

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
20	「確かな学力」・「豊かな心」の育成	<p>たくましい人づくりの推進</p> <p>高校生に対する分野別の探求的学習や外部講師の講演など、進路希望に合わせ、各学校・学科に応じた取組を推進</p>	<p>自己の個性を理解した上で、主体的に将来の進路を選択、決定できる能力を地域社会との連携の中で育て、人間関係や将来設計、情報活用等の様々な能力を養う。</p> <p>高等学校4校(阿南工業高校・阿波高校・阿波西高校・川島高校)を指定して、生徒に対し自分の進路や将来の夢・希望を考えさせるきっかけを与え、学習習慣の定着、学習意欲向上を図るために指導方法や教材の工夫などの取組を行った。その過程や途中の取組状況の報告会、年間を通しての成果発表会を通して、取組についての意見交換や情報共有を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>運営指導委員会では、外部の有識者の意見を頂き、取組に生かしてきてきた。また、1年のまとめとしての各校の取組の成果報告や発表会では、各校における目標の達成が図られており、主体的に進路を設計する能力や自己表現能力など生徒のさまざまな能力を養うことができた。今後の継続的な取組により、さらに成果が顕著で</p> <p>平成24年度は3カ年の指定研究の完成年度であるため、本年より取組を明らかにしつつ取組を継続し、成果発表会等で成果の普及に努める。また、次年度の指定研究に現在の取組の成果が継承されるように努める。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	推進	推進			推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	—	—	推進	推進			推進												
21	「確かな学力」・「豊かな心」の育成	<p>学校政策課</p> <p>事業名、数値目標実績</p> <p>小中一貫教育の推進</p> <p>○モデル地域(累計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>15</td> <td></td> <td>125.0%</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23見直し</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	3	4	7	11	15		125.0%	12	<p>業務教育段階の小・中学校間で、相互の進路を一層促進し、教師の児童・生徒に対する継続的な指導や欲動の情報交換により、児童生徒への理解を深めるとともに、学習指導、生徒指導等の充実についての研究を推進する。</p> <p>○小中一貫教育パイオニア事業：3地域指定(18～20年度) ○小・中連携教育実践研究事業：1地域指定(20・21年度) ○教育研究開発事業：3地域指定(21・22・23年度) ○幼小中連携推進モデル事業～学びのかけ橋プロジェクト～：1地域指定(22・23年度) ○小中一貫「学校力」向上事業：3地域指定(22年度) ○学びのかけ橋プロジェクト事業：4地域指定(23年度)</p> <p>幼小中連携推進モデル事業～学びのかけ橋プロジェクト～により幼小・小中の合同活動等とおして研究が進められ、校種を超えた人事交流や長期研修を行うなど、先進的な取組を推進することができた。また、4市町を指定した「学びのかけ橋プロジェクト事業」により、各市町の取組に応じた実践が推進された。両事業の成果を「あわ(OUR)教育発表会」において報告し、広く県内に普及することができた。</p> <p>「学びのかけ橋プロジェクト事業」として、藍住町内の全ての幼稚園・小中学校において幼小中連携の研究指定を行い、交流授業・合同学習・合同研修会や交流活動等、11年間の「学び」や「育ち」をつなぐ教育・地域との連携等について実践的な研究を進めるとともに、その成果の県内への普及に努める。</p>
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
3	4	7	11	15		125.0%	12												

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
22	「確かな学力」・「豊かな心」の育成	少人数学級編制の実施 ○少人数学級(35人を上限とする学級編制)の推進	少人数学級編制を導入することにより、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を一層充実させ、児童・生徒のいきいきとした学校生活の実現を支援する。 全ての小学校1・2・3年生及び中学校1年生を対象として引き継ぎ35人学級を実施した。 (国の基準を上回って配属した学校) ○小学校2年生24校24学級 ○小学校3年生21校21学級 ○中学校1年生21校21学級																
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学1・2年</td> <td>小学1・2年及び中学1年</td> <td>小学1・2年及び中学1年</td> <td>小学1・2年及び中学1年</td> <td>小学1・2・3年及び中学1年</td> <td></td> <td>継続実施</td> <td>小学3年に新入生</td> </tr> </tbody> </table> H23見直し 継続実施	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	小学1・2年	小学1・2年及び中学1年	小学1・2年及び中学1年	小学1・2年及び中学1年	小学1・2・3年及び中学1年		継続実施	小学3年に新入生
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
小学1・2年	小学1・2年及び中学1年	小学1・2年及び中学1年	小学1・2年及び中学1年	小学1・2・3年及び中学1年		継続実施	小学3年に新入生												
	評価		少人数学級編制を実施し、児童の基本的な生活習慣・学習習慣の定着や生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を充実させることができ、いわゆる「小1プロブレム」や「中1ギャップ」をはじめとする課題への対応を図ることができた。																
	今後の取組及び方向性		平成24年度は小学校1・2・3年生及び中学校1年生に少人数学級編成を継続するとともに、小学校4年生への拡大を図る。																
		教職員課																	
23	「確かな学力」・「豊かな心」の育成	事業名、数値目標実績 少人数指導の充実 ○一定規模以上の学級を有する全ての小・中学校に少人数指導のための追加教員を配置	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 少人数グループ指導やティームティーム指導を効果的に組み合わせ、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を一層充実させ、児童・生徒のいきいきとした学校生活の実現を支援する。 少人数グループ指導やティームティーム指導を効果的に行うため、小学校3年生で36人以上の学級を有する学校に、小学校4年生から6年生及び中学校全学年で25人以上の学級を有する学校に追加教員を配置した。 ○小学校111校185名を配属 ○中学校65校91名を配属																
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25人以上の学級で継続実施</td> <td>25人以上の学級で継続実施</td> <td>25人以上の学級で継続実施</td> <td>25人以上の学級で継続実施</td> <td>25人以上の学級で継続実施</td> <td></td> <td>継続実施</td> <td>継続実施</td> </tr> </tbody> </table> 各学校、学年の特性に応じ、少人数グループ指導やティームティーム指導を効果的に組み合わせるなど、各学校の創意工夫のもと、きめ細かな指導の充実を図ることができた。	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	25人以上の学級で継続実施	25人以上の学級で継続実施	25人以上の学級で継続実施	25人以上の学級で継続実施	25人以上の学級で継続実施		継続実施	継続実施
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
25人以上の学級で継続実施	25人以上の学級で継続実施	25人以上の学級で継続実施	25人以上の学級で継続実施	25人以上の学級で継続実施		継続実施	継続実施												
	評価		各学校、学年の特性に応じ、少人数グループ指導やティームティーム指導を効果的に組み合わせるなど、各学校の創意工夫のもと、きめ細かな指導の充実を図ることができた。																
	今後の取組及び方向性		各学校、学年の課題に応じ、少人数グループ指導やティームティーム指導を効果的に組み合わせ、児童・生徒一人ひとりに行き届いたきめ細かな指導の継続を図る。																
		教職員課																	

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																									
24	「確かな学力」、「豊かな心」の育成	退職教員等外部人材の活用 教員の子どもと向き合う時間拡充等のため、退職教員や社会人を小・中・高等学校及び高等専門学校へ配置	退職教員、社会人等の外部人材を活用して、教師が子どもと向き合う時間を増やし、児童生徒の笑顔や学校の実情に即した教育を展開する。	<p>事業目的</p> <p>児童生徒の笑顔や学校の実情に即した教育を展開するとともに、新学習指導要領の先行実施に対応するため、退職教員や経験豊かな社会人等を小・中・高等学校等に配置した。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <tr> <td>○小学校</td> <td>77校</td> <td>78名を配置</td> </tr> <tr> <td>○中学校</td> <td>43校</td> <td>43名を配置</td> </tr> <tr> <td>○高等学校等</td> <td>32校</td> <td>67名を配置</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>達成率</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>評価</p> <p>教員の子どもと向き合う時間を確保し、経験豊かな社会人教師等の多くの指導者が児童生徒にかかわることで、個に応じた適切な指導や必要な支援を行うことができ、体験活動の充実も図ることができた。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>引き続き、外部人材を効果的に活用し、学校現場のニーズに対応するとともに、教員が子どもと向き合う時間を確保し、きめ細かな指導の充実を図る。</p>	○小学校	77校	78名を配置	○中学校	43校	43名を配置	○高等学校等	32校	67名を配置	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	推進	推進	推進	推進			推進
○小学校	77校	78名を配置																											
○中学校	43校	43名を配置																											
○高等学校等	32校	67名を配置																											
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																						
-	推進	推進	推進	推進			推進																						
25	「豊かな心」の育成	郷土の伝統文化を尊重する教育の推進 ○伝統文化を尊重する教育実践研究指定校(累計)	<table border="1"> <tr> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>達成率</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td>72.7%</td> <td>22</td> </tr> </table> <p>評価</p> <p>生徒が地域の伝統や文化に触れる機会を充実し、教育課程上の位置付け、指導内容、指導方法、教材等についての実践研究に取り組んだことにより、外部人材の効果的な活用が図られた。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>実践研究校の取組の成果を県内各校に広報し、普及発展を図る。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	7	12	12	16	16		72.7%	22	<p>事業目的</p> <p>我が国の伝統や文化への関心や理解を深めるとともに、それらを大切にしようとする態度を育て盛かに生きる力を育むことに資する。</p> <p>取組状況</p> <p>小笠原西高等学校においては、重宝め学習から、広く伝統文化全体を尊重する態度へ一般化する工夫の実践研究を行うとともに、外部人材の活用を含め、継続的な活動へつなげるための指導方法や教材等の整理に取り組んだ。事業実施後は、アンケートを実施し、生徒の伝統文化への興味・関心・態度の変容の検証を図った。</p> <p>評価</p> <p>生徒が地域の伝統や文化に触れる機会を充実し、教育課程上の位置付け、指導内容、指導方法、教材等についての実践研究に取り組んだことにより、外部人材の効果的な活用が図られた。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>実践研究校の取組の成果を県内各校に広報し、普及発展を図る。</p>									
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																						
7	12	12	16	16		72.7%	22																						

番号 26	目標 「豊かな心」の育成	事業名、数値目標実績 保護者の有害環境対策フィリタリングの認知率 ○保護者の有害環境対策フィリタリングの認知率 	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 保護者の責務として、フィリタリングサービスを認知し、利用することにより、児童生徒が安全に携帯電話を使用できるような環境を整える。また、そのことにより、有害サイト等を通じた被害リスクの低下を図る。 携帯電話は、今や非常時の情報収集や家族等との情報伝達ツールとして、必要不可欠な存在である。しかし、一方で犯罪等に利用される危険性もある。そこで、NTTドコモの専門家を学校に派遣し、携帯電話のルールやマナーなど情報モラルについての指導を行うため、携帯電話安全教室を行っている。 また、県PTA総会において、啓発用リーフレットを配付し、携帯電話の適切な使用に図って行った。 <table border="1" data-bbox="383 425 462 1254"> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>86.0%</td> <td>89.3%</td> <td>92.5%</td> <td>96.8%</td> <td>—</td> <td>96.8%</td> <td>100%</td> </tr> </table> 保護者のフィリタリングサービスの認知度は、96.8%と高い水準となっているが、さらに認知率を高めていく必要がある。 保護者のフィリタリングサービスの認知度が、96.8%となっているが、実際にフィリタリングサービドスを利用するかどうかとなると、小学生保護者78.6%、中学生保護者70.3%、高等学校保護者48.1%と低くなっていることから、携帯電話安全教室等で、情報メディアを介してトラブルに巻き込まれる危険性等について指導に努める。		H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値		—	86.0%	89.3%	92.5%	96.8%	—	96.8%	100%
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値													
	—	86.0%	89.3%	92.5%	96.8%	—	96.8%	100%													
番号 27	目標 「豊かな心」の育成	学校政策 事業名、数値目標実績 スクールカウンセラー全校配置の推進 ○スクールカウンセラーの全公立小・中学校への配置	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性 児童生徒の臨床心理に因りて両方に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、生徒、保護者、教職員の相談等に応じ、生徒に係る諸課題の解決及び教育の充実を図る。 児童生徒のいじめや不登校等の問題行動に対応するため、スクールカウンセラーを全公立小・中学校と高校の一部に配置し、児童生徒へのカウンセリング、保護者及び教職員に対する助言や援助を行うよう、相談体制の充実を図った。また、スクールカウンセラーを徳島県立総合教育センターへ配置し、すべての県立学校へも要請に応じて派遣できるようにしている。 平成23年度の配置状況は、臨床心理士等48名をスクールカウンセラーとして66校の拠点校に配置した。 <table border="1" data-bbox="909 425 989 1254"> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>配置</td> <td>—</td> <td>達成</td> <td>推進</td> </tr> </table> 全公立小中学校にスクールカウンセラーが配置されたことで、相談体制が整備され、小・中学校を通して継続的なカウンセリングが実施することが可能となった。また、生徒指導上の諸課題の解決にも大きな役割を果たしている。 相談件数が増加するなかで、1人に充てられる相談時間が少なくなると、継続した相談が必要な児童生徒への対応が難しくなってきた。そのため、相談時間を工夫することや緊急の支援体制を整備することにより、相談体制の一層の充実を図る。		H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値		—	推進	推進	推進	配置	—	達成	推進
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値													
	—	推進	推進	推進	配置	—	達成	推進													

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
28	<p>事業名、数値目標実績</p> <p>スクールソーシャルワーカー活用の推進 ○スクールソーシャルワーカー一教</p> <p>「愛かな心」の育成</p>	<p>事業目的</p> <p>社会福祉士等を学校や通学通園指導教室へ派遣し、児童生徒がおかれた様々な探求の問題について、各関係機関等との連携・調整を行い、児童生徒のおかれた探求改善を図ることにより問題行動の解決に資する。</p> <p>取組状況</p> <p>平成23年度は、平成22年度の7名から1名増員し、8名のスクールソーシャルワーカーを委嘱して、保護者や学校からの児童生徒の問題行動についての相談に応じた。問題行動等の背景には、児童生徒がおかれた様々な探求の問題が複雑に絡み合っているため、心理的なカウンセリングだけでなく探求改善を図る取組を行っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>100.0%</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価</p> <p>スクールソーシャルワーカーが各関係機関との連携を密に取り、児童生徒がおかれた探求の問題に働きかけ、問題解決に結びつけることができた。このことは、主として心のケアを進めるカウンセリング中心の教育相談をさらに充実させることにつながった。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>児童生徒の問題行動の背景には、様々な探求の問題が複雑に絡み合っており、教員だけでは対応しきれない場合も少なからず見られるので、社会福祉士を派遣し、各関係機関と連携・調整するコーディネートを行い、児童生徒をめぐり探求の改善を図っていくとともに、公約サービス等の紹介をより進めていく。また、県内における社会福祉士の数は限られているが、優秀な人材を確保することに努め、相談体制の充実を図っていく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	4	5	6	7	8	8	100.0%	8
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
4	5	6	7	8	8	100.0%	8											
29	<p>事業名、数値目標実績</p> <p>阿波っ子スクールサポートチーム(ASST)活動の充実強化 児童生徒の問題行動へ迅速に対応するため、関係機関が連携して支援を図る</p> <p>「愛かな心」の育成</p>	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>児童生徒による問題行動(徘徊、いじめ、暴力行為、虐待、不良行為等)で課題を抱えている学校に対し、速やかに担当者派遣することともに、必要に応じて関係機関と連携を図り、チーム会議を開催するなど、直接的支援を行うことで問題の解決を図る。</p> <p>取組状況</p> <p>県警察少年サポートセンターと県教育委員会連携で組織し、児童相談所や所管の警察官及び青少年指導センター等の関係機関と連携を図りつつ、チーム会議を開催して問題の解決に取り組んだ。</p> <p>平成23年度は、10名の生徒を対象に、5校(小学校0校、中学校0校、中学校5校)で計8回の会議を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>継続実施</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価</p> <p>ASST会議を開催することにより、参加した関係機関は、学校の担当者等から直接状況を聞くことができ、正確な状況把握ができるようになった。また、学校はチーム会議を通して関係機関の担当者を知ることにより、児童生徒の適正な処遇について、関係機関と連携を図りやすくなった。結果として、暴力・いじめの件数の減少につながってきた。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>いじめ・暴力行為等の問題行動を繰り返す児童生徒の背景には、さまざまな要因が関係しているケースもあり、大学教授や臨床心理士等、より専門的な知識を持つ専門家判断や助言も受けていく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	推進	推進	推進	推進	推進	継続実施	推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
—	推進	推進	推進	推進	推進	継続実施	推進											

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																		
30	「健やかな体」の育成	<p>子どもの体力向上の推進 ○「体力アップ100日作戦！」達成率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成率</td> <td>84.0%</td> <td>89.0%</td> <td>94.7%</td> <td>93.8%</td> <td>94.1%</td> <td>95%</td> <td>99.1%</td> <td>95%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	達成率	84.0%	89.0%	94.7%	93.8%	94.1%	95%	99.1%	95%	<p>事業目的 小・中学校・小学児童の体力向上と、運動習慣の確立、望ましい生活習慣の形成を図る。</p> <p>取組状況 全国平均より低位な状況にある本県の子どもたちの体力向上と運動習慣や生活習慣の形成を目標として平成19年度より継続実施。 平成22年度から対象を小学4年生まで広げ実施している。</p> <p>評価 平成23年度の達成率は94.1%（昨年は93.8%）であった。取組みの定着とともに成果が目に見えるようになってきた。</p> <p>今後の取組及び方向性 健康増進課と連携し、学校での取組みを家庭や地域に広げ、さらに効果のある取組みにし、体力向上を図る。</p>
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値													
達成率	84.0%	89.0%	94.7%	93.8%	94.1%	95%	99.1%	95%													
31	「健やかな体」の育成	<p>事業名、数値目標実績 体質学校安全課</p> <p>子どもの体力向上の推進 ○子どもの体力向上支援プランの策定・推進</p>	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>事業目的 全国平均を下回る状況が続いている子どもの体力・運動能力を全国平均レベルに向上させる。</p> <p>取組状況 平成22年度は支援プランを具体的な行動目標として示した「子どもの体力向上アクションプラン」を策定。平成23年度はこれに基づき各校で「体力向上計画」を作成し、体力向上に向けた取組を実施。県としては「体力向上スマイル事業」を実施し、各校での取組を支援している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>策定</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>策定</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>策定</td> <td>継続実施</td> <td>策定</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 昨年度の県平均を多くの項目で上回るなど体力向上の兆しが見えた。（甲2女子の体力合計点は平成22年度の全国平均を上回った。）</p> <p>今後の取組及び方向性 学校・家庭・地域が連携して「学校体育の充実」「運動習慣の確立」「望ましい生活習慣の形成」を柱とする取組を継続かつ充実させていく。</p>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	策定	-	-	策定	推進	推進	策定	継続実施	策定
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値													
策定	-	-	策定	推進	推進	策定	継続実施	策定													

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
32	<p>「健やかな体」の育成</p> <p>子どもの体力向上の推進 ○「運動が好きな児童生徒」の割合</p> <p>小5 90.4% 中2 95.3%</p> <p>小5 65.3 中2 52.3</p> <p>小5 63.3 中2 55.3</p> <p>小5 70.0% 中2 58.0%</p> <p>H23新規</p>	<p>「運動好き」な子どもを育て、日常的に運動を奨励する習慣の形成を図る。</p> <p>事業目的 「体育授業はつまらざらポート」を実施し、体育授業に専門員を派遣して運動の楽しさとできるよるこびを体 わわす取組を実施。また、小学校高学年から中学生を対象に「元氣アップチャレンジ」を実施し、歩数計を活 用する取組等を通じて運動習慣の形成を図った。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>小5 65.3 中2 52.3</td> <td>小5 63.3 中2 55.3</td> <td></td> <td>小5 90.4% 中2 95.3%</td> <td>小5 70.0% 中2 58.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23新規</p> <p>評価 平成23年度調査において「運動が好き」と答えた子どもの割合は、5年生が63.3%（昨年65.3%）、 3%）、中学2年生が55.3%（昨年52.3%）。「好き」「やや好き」を加えた割合は、小学5年生 が88.8%、中学2年生が83.9%なので、「やや好き」を「好き」へと導く必要がある。</p> <p>今後の取組及び方向性 各種取組の充実を図り、運動の楽しさやできる喜びを味わわせる。小学校を訪問し、学校の多様な環境に 合わせて授業や研修を行う「体育授業はつまらざらポート」を推進し、実施校の拡大を図る。また、ICTのランキ ングシステムを活用し、学校や家庭で仲間や家族とともに様々な運動項目に目標をもって取り組んだりする環 境を提供する。さらに、県民への啓発を行い、日常生活で運動の楽しさを味わえるような取組を提供する。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	-	小5 65.3 中2 52.3	小5 63.3 中2 55.3		小5 90.4% 中2 95.3%	小5 70.0% 中2 58.0%
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
-	-	-	小5 65.3 中2 52.3	小5 63.3 中2 55.3		小5 90.4% 中2 95.3%	小5 70.0% 中2 58.0%											
33	<p>「健やかな体」の育成</p> <p>学校保健の充実 ○スクールヘルスリーダー派遣回数(累計)</p> <p>H19 23 H20 23 H21 126 H22 126 H23 140 H24 140</p>	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>事業目的 退職養護教諭を養護教諭未配置校に派遣し、子どもたちが抱える健康課題に対応できる取組を整備する。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>23</td> <td>126</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>140%</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 健康診断や学校行事の際に、十分に行えていなかった保健指導が充実するとともに、担任の保健指導に対す る意識も向上した。</p> <p>今後の取組及び方向性 スクールヘルスリーダーの事業が終了したため、「あわっ子生活習慣改善プラン推進事業」を活用して、 専門医の派遣を行い、教職員への指導助言、講話や講演、児童生徒や保護者への健康相談等を行い、学校にお ける子どもの健康課題解決に取り組んで行く。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	23	126				140%	90
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
-	23	126				140%	90											

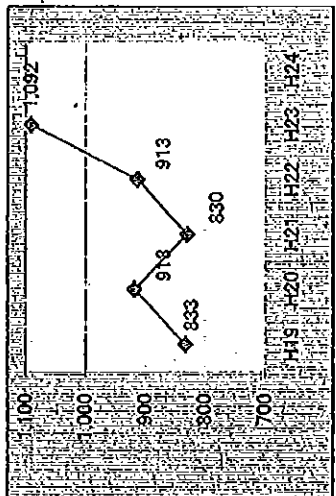
番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
34	「健やかな体」の育成	学校保健の充実 ○専門医派遣回数(累計) 	<p>事業目的 子どもの現代的な健康課題に対処するために、地域の専門医を学校に派遣し、教員に対する指導助言や、子どもや保護者に対する健康相談を行い、学校における子どもの現代的な健康課題に対処するための体制づくりを推進する。</p> <p>取組状況 平成23年度末までに延べ126回、各診療科の専門医等を学校に派遣し、専門家による教職員への指導助言、講話や講演、児童生徒等の健康相談等を行い、学校保健の充実を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>67</td> <td>97</td> <td>126</td> <td>—</td> <td>105.0%</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 各診療科の専門医が学校に赴き、教職員への指導助言、講話や講演、児童生徒や保護者への健康相談等を行うことにより健康課題に対処するための体制づくりが推進できた。また、子どもの実情に即した具体的な健康課題の解決に結びついた。</p> <p>今後の取組及び方向性 子どもの心身の健康課題は、複雑多様化しており、今後は「あわっ子生活習慣改善プラン推進事業」を活用し、地域の専門家や関係機関との連携体制の強化を図り、現代的な健康課題解決に取り組みで行く。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	67	97	126	—	105.0%	120
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	—	67	97	126	—	105.0%	120												
35	「健やかな体」の育成	体育学校安全課 事業名、数値目標実績 学校保健の充実 肥満傾向児の出現率の低減を推進	<p>事業目的 徳島県の肥満傾向児の出現率は、全国値と比較すると高い傾向にあり、肥満から糖尿病や高血圧、心疾患、脂質異常症など様々な生活習慣病が引き起こされることから、小児期からの肥満対策を推進し、生活習慣病予防に取り組み。</p> <p>取組状況 各学校においては、保健体育科、家庭科等の教科で、運動や食生活などの望ましい生活習慣などについて指導を行うとともに、肥満傾向児の指導については、栄養教諭及び学校栄養職員、養護教諭、担任が保護者や学校医と連携し、個別に指導を行った。また、県医師会と連携し「肥満健康管理システム」、各学校糖尿病検尿システム」を各等学校でも開始し、積極的な介入が困難であった高等学校における肥満対策についても丁寧な個別指導を行うことにより推進した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> <td>—</td> <td>継続実施</td> <td>H23新規</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価 生活習慣病予防に継続して取り組んだ結果、県全体の肥満傾向児の割合は年次的にみれば低下しているが、平成23年度学校保健計画調査によると、肥満傾向児の占める割合では、6、8歳の女子を除く全ての年齢で全国平均を上回っており、依然として、肥満対策は重要である。</p> <p>今後の取組及び方向性 食生活や運動習慣など、正しい生活習慣を確立できよう養育指導等を対象に生活習慣病予防に関する研修会を開催するなど各学校において、一層、肥満予防や生活習慣病予防に取り組みよう指導を行うとともに、「肥満の健康管理システム」等により肥満対策を実施する医療機関や専門医と協力し合い、個別指導を行うなど、推進を図る。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	—	推進	—	継続実施	H23新規
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	—	—	—	推進	—	継続実施	H23新規												

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
36	「健やかな体」の育成	<p>学校食育の推進 ○食育全体計画の策定</p> <p>体育学校安全課</p>	<p>食に関する知識と食を選択する力を習得するために、学校において魅力ある食育を推進し、子どもの健全な食生活の実現と豊かな人間形成を図る。</p> <p>「徳島県学校食育推進プラン」（平成20年3月策定）に示した食育全体計画の標準モデルをもとに、平成20年度には、県内全ての小・中・高専学校及び特別支援学校において、各校の食育全体計画が策定された。平成21～23年度はその改訂を行い、各校に実施に応じた食に関する指導を、各校の教育活動全体を通して系統的・計画的に進めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>全小・中・高・特別支援学校で策定</td> <td>全小・中・高・特別支援学校で策定</td> <td>全小・中・高・特別支援学校で策定</td> <td>全小・中・高・特別支援学校で策定</td> <td>全小・中・高・特別支援学校で策定</td> <td>継続実施</td> <td>全小・中・高・特別支援学校で策定</td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の共通理解のもと、学校教育活動全体で系統的・計画的に学校における食育が推進されるための体制づくりが整った。食育全体計画に基づき、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等の中で取組を図りながら食育を推進することと学習内容が充実するとともに、学校給食を主とした教材として活用する取組が増え、食育の効果的な進め方を県内に広めていく必要がある。食育全体計画を家庭や地域との共通理解のための資料として活用しながら、学校における食育を推進していく。</p> <p>食育全体計画を実施するために、各校の取組み例の紹介などを行う。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	全小・中・高・特別支援学校で策定	全小・中・高・特別支援学校で策定	全小・中・高・特別支援学校で策定	全小・中・高・特別支援学校で策定	全小・中・高・特別支援学校で策定	継続実施	全小・中・高・特別支援学校で策定
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
-	全小・中・高・特別支援学校で策定	全小・中・高・特別支援学校で策定	全小・中・高・特別支援学校で策定	全小・中・高・特別支援学校で策定	全小・中・高・特別支援学校で策定	継続実施	全小・中・高・特別支援学校で策定												
37	「健やかな体」の育成	<p>学校食育の推進 ○栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導実施数</p> <p>体育学校安全課</p>	<p>「食に関する知識」や「食を選択する能力」を身に付け、「感謝の心」や「食文化を尊重する心」を育むために、栄養教諭が中核となり、その専門性を生かして、全公立小中学校での食に関する指導を充実し、徳島ならではの魅力ある食育を推進する。</p> <p>所属校だけでなく受配校や栄養職員未配置校の教職員と連携・協力し、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導をT、T等の形式で行うよう、研修会等で周知してきた。教科等による指導や給食時間の指導、給食試食会や食育講演会等の指導、また、個別相談指導が行われるようになってきた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>123</td> <td>174</td> <td>-</td> <td>79.1%</td> <td>220</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23新規</p> <p>受配校の多い給食センター勤務の栄養教諭は、日常の業務と各校の指導時期等が重なり、時間の確保が難しい。栄養教諭が積極的に受配校や未配置校への訪問機会をふやすために、計画的・系統的な指導体制を整える必要がある。</p> <p>各市町村教育委員会及び学校に対して事業目的の風知を図り、栄養教諭等未配置校での食に関する指導を実施しやすい体制を整えるよう働きかける。各市町村や学校における取組み状況を定期的に把握し、促進に努めるよう働きかける。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	-	123	174	-	79.1%	220
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
-	-	-	123	174	-	79.1%	220												

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
38	「健やかな体」の育成	<p>学校給食における地産産物の活用</p> <p>○学校給食における地産産物活用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活用率</td> <td>50.0%</td> <td>53.0%</td> <td>53.0%</td> <td>56.0%</td> <td>58.2%</td> <td>97.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	活用率	50.0%	53.0%	53.0%	56.0%	58.2%	97.0%	<p>事業目的 地産産物を「教材」として一体的に活用し、地域の自然や産業、文化等について学ぶとともに、学校給食で食「食」を総合的に学習することにより、望ましい食生活や食料生産等に対する子どもたちの関心と理解を深めるとともに、地産地消を進める。</p> <p>平成19年度に栄養教諭及び学校栄養職員を配置する県内全ての学校給食施設で調査を開始し、20年度からは年3回(6月・11月・1月の連続した5日間)を実施している。平成23年度は食材数ベースで前年度より1.9ポイント上昇し、活用率は58.2%となった。</p> <p>食育コーディネーター(栄養教諭)研修会で各市町村の取組みを情報交換するとともに、各市町村で「学校給食供給ネットワークづくり」の充実を進めた。</p> <p>また、高校生を対象に地産産物を活用した「学校給食アイデア料理コンテスト」を開催し、入賞作品をレシピ集として配布するなど、情報発信に努めた。</p>		
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24													
活用率	50.0%	53.0%	53.0%	56.0%	58.2%	97.0%													
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50.0%</td> <td>53.0%</td> <td>53.0%</td> <td>56.0%</td> <td>58.2%</td> <td>97.0%</td> <td>97.0%</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table> <p>「地産産物活用状況調査」により、学校給食に取り入れやすい品類が多く出回る6月期は高い活用率であったが、夏休み期間が重なる時期は低いなど、季節による活用率の違いが明らかになっている。</p> <p>調査結果は各市町村に周知しており、地産産物活用の意識などの理解が促進され、調理場の食数や設備等の実施に合わせ、できるだけ地産産物を活用しようとする意識の高まりが得られた。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	50.0%	53.0%	53.0%	56.0%	58.2%	97.0%	97.0%	60%
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
50.0%	53.0%	53.0%	56.0%	58.2%	97.0%	97.0%	60%												
			<p>季節により活用率が異なり、夏休み期間が重なる時期は低いなど、季節による活用率の違いが明らかになっている。</p> <p>また、衛生管理面や栄養価・食費など、様々な条件の中で、できるだけ多くの県産食材を使用した献立が作成できるよう、栄養教諭・学校栄養職員等の意識の向上を図る必要がある。</p> <p>今後も、地域の産都市や生産者団体等の協力を得ながら、各調理場の食数や各地域の気候に応じた供給体制の確立を進める。</p>																
		<p>体育学校安全課</p> <p>事業名、数値目標実績</p>	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>特別支援教育の理解・啓蒙の推進を図ることで、障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎づくりを行う。</p>																
39	特別支援教育の充実	<p>理解・啓蒙の推進</p> <p>○特別支援学校と交流・共同学習等を実施している学校・団体数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>88</td> <td>94</td> <td>78</td> <td>119</td> <td>120</td> <td>130</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	数	88	94	78	119	120	130	<p>事業目的 特別支援教育の理解・啓蒙の推進を図ることで、障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎づくりを行う。</p> <p>取組状況 特別支援学校の幼児児童生徒が、自分の住んでいる地域にある幼稚園、小中学校等の授業や学校行事に参加する「居住地域交流」56団体、特別支援学校と近隣の幼稚園、小中学校等との交流をする「学校間交流」46団体、特別支援学校が近隣の施設等と交流をする「地域交流」17団体により、積極的に交流及び共同学習を行い、特別な支援を必要とする幼児・児童生徒及び特別支援教育についての理解・啓蒙を推進した。</p> <p>評価 交流及び共同学習の実施状況については、平成19年度88団体から平成20年度94団体増加し、平成21年度は新型インフルエンザの影響で78団体に減少したものの、平成22年度においては119団体と大幅に増加し、平成23年度も継続できている。交流形態も、行事や授業を通して直接ふれあう交流から、作品や発表を通しての交流、メールや手紙等による間接的な交流まで多様化してきている。また、継続的・発展的な取組事例も多く、特別支援教育の理解・啓蒙がすすんでいるといえる。</p> <p>今後の取組及び方向性 今後は教員を伸ばすだけでなく、理解・啓蒙につながる発表した交流活動を実施するために、学校の特色や幼児児童生徒の実態に応じた内容や方法について工夫・配慮していくことが必要である。さらに、交流校・団体との連携体制、安全面の確保、緊急時の対応等の課題解決に向けて取り組んでいく。</p>		
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24													
数	88	94	78	119	120	130													

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																																				
40	特別支援教育の充実	<p>一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実</p> <p>○「個別の指導計画」を作成している学校の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成率</td> <td>47.0%</td> <td>66.0%</td> <td>95.0%</td> <td>97.5%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	達成率	47.0%	66.0%	95.0%	97.5%	100.0%	目標値					100%	<p>一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を充実させるために、個々の幼児児童生徒の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うための計画を明記した「個別の指導計画」の作成を推進する。</p> <p>管理職に幼児児童生徒に対する「個別の指導計画」の必要性を示すとともに、特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任者等に「個別の指導計画」の作成と活用についての研修を行い、「個別の指導計画」の作成を推進することにより、幼児児童生徒一人ひとりの支援の充実を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成率</td> <td>47.0%</td> <td>66.0%</td> <td>95.0%</td> <td>97.5%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>幼稚園、小学校、中学校、高等学校の中で、個別の指導計画の作成が必要な児童生徒が在籍している学校では、その作成率は100%になった。</p> <p>「個別の指導計画」の有用性についての理解が深まり、必要な幼児児童生徒が在籍しているすべての学校で作成・活用されるようになってきている。今後は、特別な支援が必要な全ての幼児児童生徒について「個別の指導計画」を活用したきめ細かな支援が行われるようさらに推進する。</p>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	達成率	47.0%	66.0%	95.0%	97.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100%
年度	H19	H20	H21	H22	H23																																		
達成率	47.0%	66.0%	95.0%	97.5%	100.0%																																		
目標値					100%																																		
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																															
達成率	47.0%	66.0%	95.0%	97.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100%																															
41	特別支援教育の充実	<p>一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実</p> <p>○「個別の教育支援計画」を作成している学校の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成率</td> <td>85.0%</td> <td>96.0%</td> <td>87.0%</td> <td>96.0%</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H23新規</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	達成率	85.0%	96.0%	87.0%	96.0%	93%	目標値					H23新規	<p>乳幼児期から学校卒業までの長期的視点に立ち、障害のある幼児児童生徒の生活全般にわたる支援を効果的にするために保健・教育・福祉・警察等の関係機関が情報を共有した「個別の教育支援計画」の作成を推進する。</p> <p>「個別の教育支援計画」の様式を作成し、特別支援教育コーディネーター研修等で研修を行っている。平成23年3月に単子「個別の教育支援計画を作成するための」を作成し、公立幼稚園、小・中・高等学校に配布し、具体的な作成の手順や活用方法等について周知を図った。グラウンドモデル地域に2市を指定し、福祉、医療等、関係機関と連携しながら、「個別の教育支援計画」の作成と活用について研究を行い、その研究成果を全県に情報提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成率</td> <td>85.0%</td> <td>96.0%</td> <td>87.0%</td> <td>96.0%</td> <td>93%</td> <td>93%</td> <td>103.2%</td> <td>H23新規</td> </tr> </tbody> </table> <p>小学校、中学校の中で、個別の教育支援計画の作成が必要な児童生徒が在籍している学校では、その作成率は96%になった。しかし、個々の幼児児童生徒でみると、保護者の了解が得られなかったり作成が困難な例も多く、今後も推進が必要である。</p> <p>「個別の教育支援計画」は、受動的な視座に立って、保護者の了解のもと、学校、関係機関が連携して子どもへの社会参加に向け支援していくための計画であり、学校関係者へは、かなり浸透が図られた。今後は、保護者への理解啓発をより一層図るとともに、関係機関とともに、関係機関の連携が必要なすべての「個別の教育支援計画」が作成・活用されるよう更に推進していく。</p>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	達成率	85.0%	96.0%	87.0%	96.0%	93%	93%	103.2%	H23新規
年度	H19	H20	H21	H22	H23																																		
達成率	85.0%	96.0%	87.0%	96.0%	93%																																		
目標値					H23新規																																		
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値																															
達成率	85.0%	96.0%	87.0%	96.0%	93%	93%	103.2%	H23新規																															

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
42	特別支援教育の充実	一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実 県立高等学校に特別支援教育支援員を配置し、支援対象生徒の学校生活の充実等を図るとともに、学校全体による支援体制の構築を図る	<p>県立高等学校には、発達障害等により、特別な支援を必要とする生徒が約2.6%在籍していると推測されるので、その生徒たちの学校生活の充実や、学校不適応状態の予防改善を行う。</p> <p>特別な支援を必要とする生徒に個別的な支援を行う。特別支援教育支援員(学習支援員)を高等学校2校に1名ずつ配置し、生徒が苦手とする実技・実習を中心とした支援を行った。</p> <p>また、発達障害等の校内研修会や、学習支援員の研修会参加などをとおして、校内の教職員全体で障害特性を理解するなど、支援体制の充実を図った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>配置</td> <td>配置</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>特別支援教育支援員を配置することにより、生徒が心理的に安定し学習効果が高められた。また、周囲の生徒のサポートも得られるようになり、個別の指導計画の作成など、校内支援体制も充実してきた。</p> <p>高等学校における支援員の配置づけや、高校生自身の自主心に配慮した支援、進路についての相談支援などについて解決することができるようになっていく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	-	配置	配置			推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
-	-	-	配置	配置			推進												
43	特別支援教育の充実	特別支援学校における支援の充実 ○進路開拓のための特別支援学校教員や就労支援アドバイザーによる事業所等への訪問回数	<p>事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性</p> <p>長引く教員の低減による雇用状態の悪化で、特別支援学校在籍生の就労については厳しい状況になっているので、就労先や、就労につながらる就業体験受け入れ先の開拓を行う。</p> <p>特別支援学校の進路担当者及び進路担当者を補佐する就労支援アドバイザーが中心となり、生徒一人ひとりのニーズや能力に応じた就労先や就業体験先を確保するため、各事業所等を訪問した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>833</td> <td>918</td> <td>830</td> <td>913</td> <td>1,092</td> <td></td> <td>109.2%</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成23年度には、事業所等訪問を1,092回行い、特別支援学校高等部生徒が28名就職した。</p> <p>就労支援アドバイザーが開拓した就労先や就業体験先を積極的に訪問し、生徒のニーズに応じた就労先等の確保に努めるとともに、生徒自身の効率的なスキルアップに向けた取組をすすめる必要がある。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	833	918	830	913	1,092		109.2%	1,000
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
833	918	830	913	1,092		109.2%	1,000												



番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
44	特別支援教育の充実	<p>特別支援学校における支援の充実 ○とくしま型トータルサポートの推進</p>	<p>高等学校に対する特別支援教育体制の充実や地域の小・中学校等に在籍する視覚障害・聴覚障害のある児童生徒へ支援のため、NPO等を派遣する。</p> <p>事業目的</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23新規</p> <p>評 価</p> <p>徳島中央高等学校、三好高等学校の研究については、核時支援学校、池田支援学校が連携してすすめることができた。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>次年度も国の委託事業を活用して、高等学校における発達障害のある生徒への支援を行うとともに、視覚障害・聴覚障害のある児童生徒等へ支援のため、引き続きNPO等を派遣する。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	-	-	推進			推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
-	-	-	-	推進			推進												
45	特別支援教育の充実	<p>特別支援学校における支援の充実 ○巡回相談員等の支援回数</p>	<p>事業目的</p> <p>巡回相談員等の支援回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2,165</td> <td>1,866</td> <td></td> <td>81.1%</td> <td>2,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23新規</p> <p>評 価</p> <p>平成22年度に比べると、相談支援受の回数は約300回減少しており、目標値の約80%の達成率であった。理由としては、過去に巡回相談を受けていた学校が多くなり、検査等を用いたより深い見直し等に対応しているため、相談に時間がかかるとも要因となっている。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>巡回相談員の位置づけが定着し、地域の学校や市町村から安定して依頼がある。本年度は昨年度に比べ、回数は減少したが、地域のセンター的な役割としての位置づけは定着しており、今後も安定して依頼があると予測できる。地域の学校における特別支援教育の体制が整備されるに伴い、巡回相談員の相談内容が多岐にわたってきており、研修等とおとした巡回相談員としての専門性の向上に努めたい。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	-	2,165	1,866		81.1%	2,300
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
-	-	-	2,165	1,866		81.1%	2,300												

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																			
46	特別支援教育の充実	通級指導教室による支援の拡大 ○通級指導教室の設置数	<p>事業目的</p> <p>平成19年の法改正により発達障害等を対象とした通級指導教室開設が可能となったことにより、小・中学校において通常の学級、通級指導教室、特別支援学級という連続性のある学びの場を充実するためにも、通級指導教室設置数の増加を図る。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <tr> <td>平成23年度には、通級指導教室を新たに2教室設置し、合計35教室となった。 ○H23 小学校30教室、中学校4教室、高等学校1教室</td> <td>H19 23 (小学校・ 高等学校)</td> <td>H20 26 (中学校2)</td> <td>H21 28 (中学校3)</td> <td>H22 33 (中学校3)</td> <td>H23 35 (中学校4)</td> <td>H24</td> <td>達成率</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>継続実施</td> <td>中学校にも 拡大</td> </tr> </table> <p>評価</p> <p>全ての通級指導教室に発達障害者を付加して対象を広げ、6月段階で420名の児童生徒が通級による指導を受けている。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>通常の学級に在籍し、発達障害等により一部特別な支援が必要な児童生徒にとつて、通常の学級と特別支援学級の中間の位置づけとなる通級指導教室の存在は、連続性のある多様なまなびの場の達成においても重要である。今後も通級指導教室の設置数の増加を推進していくとともに、効果的な教室運営や担当者の専門性の向上に努める。</p>	平成23年度には、通級指導教室を新たに2教室設置し、合計35教室となった。 ○H23 小学校30教室、中学校4教室、高等学校1教室	H19 23 (小学校・ 高等学校)	H20 26 (中学校2)	H21 28 (中学校3)	H22 33 (中学校3)	H23 35 (中学校4)	H24	達成率	目標値									継続実施	中学校にも 拡大
平成23年度には、通級指導教室を新たに2教室設置し、合計35教室となった。 ○H23 小学校30教室、中学校4教室、高等学校1教室	H19 23 (小学校・ 高等学校)	H20 26 (中学校2)	H21 28 (中学校3)	H22 33 (中学校3)	H23 35 (中学校4)	H24	達成率	目標値														
								継続実施	中学校にも 拡大													
47	特別支援教育の充実	特別支援教育課 事業名、数値目標実績 盲学校・聾学校の改築 ○盲学校・聾学校の改築	<p>事業目的</p> <p>盲学校・聾学校の老朽化や、重要・重要児童生徒の増加に対し、安心安全な教育環境の整備を推進するため、現在の盲学校敷地において、盲学校・聾学校を併置した形で改築を行う。</p> <p>取組状況</p> <p>現在の盲学校敷地において、盲学校・聾学校を併置した形で改築するため、平成21年度、平成22年度において、視覚障害・聴覚障害の両障害に対応した学校づくりをめざし、盲学校・聾学校の併置に関する検討委員会等で定期的に協議を重ね、両校の意見を充分に取り入れた基本設計、実施設計を行った。平成22年度には一部校舎の解体工事を実施し、平成23年度から体育館の改築工事に着手した。</p> <p>評価</p> <table border="1"> <tr> <td>H19 推進</td> <td>H20 基本計画</td> <td>H21 基本設計</td> <td>H22 実施設計 完了</td> <td>H23 工事 (着手)</td> <td>H24 継続実施</td> <td>達成率</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>工事 (着手)</td> </tr> </table> <p>盲学校・聾学校と定期的に協議を重ねた結果、ユニバーサルデザインに基づき学校づくりを基本としながら、視覚・聴覚障害への配慮、重複障害児への配慮など、両校の意見を十分取り入れた基本設計、実施設計を行うことができた。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>平成26年の新校舎完成をめざし、体育館床や、校舎床、寄宿舎床、運動場などを順次整備するとともに、児童生徒の交流学習、同僚教員による相互研修、連携しやすい組織の見直しなど、両校の連携・協働を進めるためのソフト面の整備を行う。</p>	H19 推進	H20 基本計画	H21 基本設計	H22 実施設計 完了	H23 工事 (着手)	H24 継続実施	達成率	目標値								工事 (着手)			
H19 推進	H20 基本計画	H21 基本設計	H22 実施設計 完了	H23 工事 (着手)	H24 継続実施	達成率	目標値															
							工事 (着手)															

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
48	特別支援教育の充実	<p>事業名、数値目標実績</p> <p>みなと高等学園の整備</p> <p>○みなと高等学園の整備</p>	<p>発達障害のある生徒に対して専門的な教育を行うとともに、センター的機能により発達障害のある幼児児童生徒に対する教育の拠点とするため、「徳島県立みなと高等学園」を整備する。</p> <p>高等学校段階の療養等を伴う発達障害の生徒に対して、社会的・職業的自立に向けた教育を行う「徳島県立みなと高等学園」の新築校舎の工事に着手した。</p> <p>また、生徒就業推進基本方針の策定、就業体験先の開拓、教育課程の検討、制服の制定など、平成24年4月の開校に向けた準備を進めた。</p> <p>平成22年度に、新築校舎の工事に着手した。</p> <table border="1" data-bbox="438 448 534 1288"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進</td> <td>設計</td> <td>設計完了</td> <td>工事</td> <td>工事</td> <td></td> <td>—</td> <td>開校</td> </tr> </tbody> </table> <p>「徳島県立みなと高等学園」の開校に向け、建設工事、生徒就業推進、教育課程など、ヘッド・ソフットの両面について準備を進めるとともに、本人・保護者等を対象とした学校説明会を開催することなどにより、同校について県民の方に広く周知することができた。</p> <p>校舎新築工事が完了し、平成24年度の開校に向け、整備を進めることができた。</p> <p>平成24年4月の開校後は、全生徒の事業所見学・校内実習・現場実習等計画的に実施し、社会的・職業的自立に向けた授業を行うっていく。また、研究会の開催等みなと高等学園が主体となり、高等学校や特別支援学校のネットワークを形成し指導・支援を行うとともに、保健福祉課局と連携した県民対象の講演会、学校見学会、他県からの視察等を通して、発達障害教育の取組を牽引していく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	推進	設計	設計完了	工事	工事		—	開校
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
推進	設計	設計完了	工事	工事		—	開校												
49	特別支援教育の充実	<p>事業名、数値目標実績</p> <p>特別支援学校の適正配置の推進</p> <p>○特別支援学校の全県的な適正配置</p>	<p>発達障害のある幼児児童生徒が、できる限り身近な場所へ、障害に応じた専門的な教育を受けることができるよう、特別支援学校の全県的な適正配置を図る。</p> <p>県西部において、国府養護学校池田分校を「徳島県立池田支援学校」として本校化すると同時に、「徳島県立池田支援学校美原分校」を新たに開校した。また、「ハナミズキ・プロジェクト」における教育施設として、平成24年4月開校予定の「徳島県立みなと高等学園」の開校準備を進めた。さらに、盲・聾学校の併置に向け、基本設計・実施設計を行った。</p> <table border="1" data-bbox="957 448 1053 1288"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td>達成</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>増加している知的障害、重症・重度障害、発達障害のある幼児児童生徒がより身近な地域で学ぶことができよう県内全域を視野に入れた適正配置を推進することができた。</p> <p>みなと高等学園に続き、盲学校・聾学校の改築について、新校舎の完成をめざし、順次整備を行う。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	推進	推進	推進	推進		達成	推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	推進	推進	推進	推進		達成	推進												

番号	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
50	<p>特別支援学校の適正配置の推進 ○国府養護学校池田分校の本校化(池田支援学校)</p> <p>特別支援教育の充実</p>	<p>特別支援学校の全体的な適正配置の一環として、県西部地域の特別支援教育の充実を図るため、国府養護学校池田分校を「池田支援学校」として本校化する。</p> <p>平成22年4月、旧・国府養護学校池田分校を「徳島県立池田支援学校」として本校化した。緊急時などにおける学校運営がより円滑になり、教育体制の向上を図ることができた。</p> <table border="1"> <tr> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>達成率</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>開校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>開校</td> </tr> </table> <p>池田支援学校の教育体制の向上を図ることにより、県西部地域の特別支援教育の充実に寄与することができた。</p> <p>今後の取組及び方向性 地域の特色を生かし、自立と社会参加に向けて、児童生徒の障害に応じた専門的な教育をおこなうとともに、美馬分校と連携してセンター的機能を発揮し、県西部地域における特別支援教育の一層の充実を図る。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	-	開校				開校
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
-	-	-	開校				開校											
51	<p>事業名、数値目標実績</p> <p>特別支援学校の適正配置の推進 ○池田支援学校美馬分校の開校</p> <p>特別支援教育の充実</p>	<p>特別支援学校の全体的な適正配置の一環として、県西部地域の特別支援教育の充実を図るため、新たに「池田支援学校美馬分校」を開校する。</p> <p>平成22年4月、徳島県立美馬商業高等学校に併設する形で、「徳島県立池田支援学校美馬分校」を開校した。</p> <table border="1"> <tr> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>達成率</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>開校</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>開校</td> </tr> </table> <p>県西中央部に特別支援学校を設置したことにより、より身近な場で、障害に応じた専門的な教育を受けられることが出来る環境を整備するとともに、同校がセンター的機能を発揮することにより、この地域における特別支援教育の充実が寄与することができた。</p> <p>今後の取組及び方向性 隣接する美馬商業高等学校との交流を深めるなど、学校の特色を生かし、自立と社会参加に向けて生徒の障害に応じた専門的な教育を行うとともに、池田支援学校と連携してセンター的機能を発揮し、県西部地域における特別支援教育の一層の充実を図る。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	-	-	-	開校				開校
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値											
-	-	-	開校				開校											

番号	項目	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性														
52	特別支援教育の充実	<p>特別支援学校等の教員に求められる専門性の向上</p> <p>○特別支援学校勤務教諭の「当該学校が対象とする障害種に対応した免許状」の保有率</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><th>達成率</th><td>75.0%</td><td>75.0%</td><td>73.0%</td><td>74.0%</td><td>72.0%</td><td>80.0%</td></tr> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	75.0%	75.0%	73.0%	74.0%	72.0%	80.0%	<p>事業目的 特別支援学校勤務教諭の「当該学校が対象とする障害種に対応した免許状」の保有率を向上させるため、免許状取得に必要な単位を修得できるよう、主に特別支援学校勤務教諭を対象として、徳島県教育委員会教育職員免許法認定講習会を開催する。</p> <p>取組状況 「「専願・LD等教育総論」, 「知的障害児の心理・生理・病理」, 「病弱児の心理・生理・病理」, 「病弱児の心理・生理・病理」」の4講座(各2日間)を開校した。4講座で、のべ276名の受講者があった。</p> <p>評価 当該認定講習会の開催により、「当該学校が対象とする障害種に対応した免許状」の保有率は、平成23年度72%となり、平成15年度の66%からは6%上昇した。しかし、免許状取得については、本県認定講習会だけでは3年間履修必須なことから、短期間での免許状取得が課題となっている。</p> <p>今後の取組及び方向性 平成22年度までは年間3講座を開校していたが、平成23年度からは年間4講座に増やしている。また、短期間での免許状取得を希望する教員へは、放送大学等での受講も案内している。今後とも、認定講習会の積極的な受講を推奨することで、特別支援学校に勤務する教員の専門性の向上を推進する。</p>
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24											
達成率	75.0%	75.0%	73.0%	74.0%	72.0%	80.0%											
53	社会の変化に対応する教育の推進	<p>特別支援教育課 事業名、数値目標実績</p> <p>「学校版環境ISO」の認証取得の推進</p> <p>○「学校版環境ISO」及び「新学校版環境ISO(仮)」</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th></tr> <tr><th>達成率</th><td>96</td><td>140</td><td>192</td><td>212</td><td>231</td><td>220</td></tr> </table> <p>学校版環境課</p>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	96	140	192	212	231	220	<p>事業目的 ISO14001などの環境規格を参考に、子どもたちと教職員が自ら目標を立て、成果をチェックする方法で、学校全体でこみの減量やリサイクル、省エネルギーなどに積極的に取り組む活動を推進する。</p> <p>取組状況 学校の環境教育の中に位置付けた本県独自の「学校版環境ISO」認証システムを構築し、県内公立小・中・高・特別支援学校において、PDCAサイクルを取り入れ、さらに成果をわかりやすく目に見える形に整理していくことで児童生徒、教職員が一体となった環境保全活動を推進した。平成23年度は継続校も含め、小学校29校・中学校14校・高等学校4校、合計47校が認証取得・継続を行った。</p> <p>評価 平成23年度末で231校が認証取得を行い、24年度末の目標である220校を達成する予定である。「学校版環境ISO」が、浸透しつつあり、児童生徒、教職員が一体となった環境保全活動が推進されたといえる。</p> <p>今後の取組及び方向性 平成24年度からは、これまで校内での活動が中心であった「学校版環境ISO」の取組をステップアップさせ、学校と地域(家庭を含む)がより一層連携し、地域や学校の状況に応じた環境学習を行う取組に進化させた。「新学校版環境ISO」に移行する。今後、地域へ取組を広げることによって活動全体の活性化を図り、環境学習を一層充実させ、将来にわたり環境保全に対する意識の高い児童・生徒及び郷土を愛するモラルの高い児童・生徒の育成に努める。</p>
年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24											
達成率	96	140	192	212	231	220											

番号	目標	事業名、数値目標実績	事業目的と平成23年度の取組状況、評価、今後の取組及び方向性																
54	社会の変化に対応する教育の推進	<p>事業名、数値目標実績</p> <p>学校を拠点とした環境教育の推進 学校施設の屋上緑化やLED照明の活用等、学校のエコスクール化を図ることにより、学校を拠点とした環境教育を推進</p>	<p>事業目的</p> <p>自然環境を考慮した学校施設の整備については、環境教育に活用できるほか、災害時の非常用電源等としての活用も可能である。 太陽光エネルギー等を利用した設備等を考慮して、地産自然環境を考慮した整備を行う。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>H23新築、</p> <p>評価</p> <p>太陽光発電設備については、東日本大震災以降、各メーカーが技術革新を急ピッチで進めており、その動向もふまえ、計画的に、県立学校に設置していく。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>「県立学校避難所施設強化・充実事業」において、太陽光発電設備、太陽光LED照明灯、ろ過装置付き雨水タンクなどを、平成30年度までに順次、各県立学校に設置していく。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	—	—	—	推進			推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	—	—	—	推進			推進												
55	社会の変化に対応する教育の推進	<p>事業名、数値目標実績</p> <p>国際理解教育の推進 国際的な視野に立つて行動できる児童生徒の育成</p>	<p>事業目的</p> <p>諸外国からの学校訪問受入れや姉妹校交流などを推進することにより、異文化理解を深め、他国を尊重する心を育み、国際的な視野に立つて行動できる児童生徒を育成する。</p> <p>取組状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>達成率</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価</p> <p>県内の13の学校に、中国、ベトナム、ドイツなどから教育関係者及び生徒を迎え、延べ7,669名の児童生徒の国際交流を実現させた。また、ICT交流の基盤づくりにより、県立の5つの学校において、英語及び中国語によるホームページを作成して情報発信をした。さらに、徳島県と中国湖南省の友好関係を契機に、長沙市第一中学校と県立城ノ内中学校による学校間テレビ会議を実現させた。</p> <p>今後は、教育旅行受入等を推進し、子ども同士が交流できる機会を増やす必要がある。</p> <p>今後の取組及び方向性</p> <p>「学校を拠点とした地域国際理解教育推進モデル事業」をスタートさせ、海外からの教育旅行受入による国際交流を推進する7校の指定とICT交流を推進する5校の指定を行い、国際理解教育の推進を図った。</p>	H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値	—	推進	推進	推進	推進			推進
H19	H20	H21	H22	H23	H24	達成率	目標値												
—	推進	推進	推進	推進			推進												

